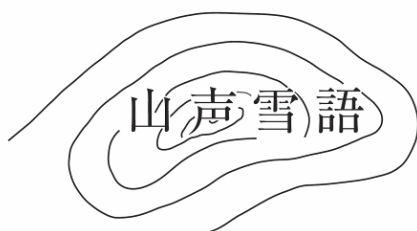


京交山岳部報

例会予告 (2018年9月～2018年10月)

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2790回 十枚山 (1726m)	9月1日(土)～ 3日(月) 集合 参加者で調整	山下幸宏	1日 京都～さった峠(車中泊) 2日 十枚山往復～温泉(泊) 3日 帰路
備考 新清水ICから富士川を詰めます。静岡・山梨県境の山です。			
第2791回 加賀大日山 (△1,368m)	9月24日(日・祝) 集合 参加者で調整	井戸澄夫	京都(北陸道)加賀IC～真砂 ・・加賀大日山往復～山中温泉 (入浴)～帰路
備考 前夜か早朝発で、下山後、山中温泉入浴。			
第2792回 ぐるっと京都一周 トレイル2018秋 東山大会	9月30日(日) 集合 7:30～9:00 桃山城駐車場受付 →個別スタート	清水康裕	京都一周トレイル東山コース 桃山城駐車場・・稲荷・・ →清水山登山口(初心者ゴール) →蹴上(中級者ゴール) →銀閣寺道(健脚者ゴール)
備考・参加希望者は9月3日までに担当者に連絡してください。参加費は2,000円です。 ・アクセス：京阪電車「伏見桃山駅」、近鉄京都線「桃山御陵駅」、JR奈良線「桃山駅」、 から徒歩15分～25分です。 ・我が部からは大会スタッフとしての参加もあります。			
第2793回 点名「鳥羽上村」 (2等△281.3)	10月11日(木) 集合 参加者で調整	吉田 武	京都東IC～米原IC～鳥羽上 町・・「上村」～鳥羽上町～ 河内風穴～彦根IC～京都東IC
備考 日帰り装備。費用1,000円。			
第2794回 府民 秋の自然保護観察会 (岳連自然保護委員会 主催) 京都御苑	10月14日(日) 集合 AM9:00 京都御苑乾御門 (地下鉄今出川駅5分)	方山宗子 岡田茂久	京都御苑乾御門～中山邸跡～ 石薬師御門～母と子の森～ 九條池
[持ち物] 筆記用具, 飲み物, 雨具, 運動靴, あれば携帯拡大スコープ, 双眼鏡, カメラ [参加費] 500(参考資料代他), ※小中学生は無料(保護者同伴のこと) [講師] 9:00～10:00 京都府岳連自然保護委員 10:00～11:30 京都自然観察学習会講師 塚本瑠一先生(連盟顧問, 元平安女学院教授) 京都自然観察学習会講師 日本鳥学会員 西台律子先生 [天候] 前日18時以降のNHKTV天気予報で、当日午前の降水確率60%以上の場合は中止			

<p>不明の場合は担当者（自然保護委員）にお問い合わせください。 [申し込み締め切り] 10月10日（水）までに担当者まで連絡してください。 ※是非一度山岳連盟自然保護観察会に参加してみませんか。きっと新しい世界が開けますよ。</p>	
<p>9月の集会</p> <p>日時 9月10日（月）18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)</p>	<p>9月の企画運営委員会</p> <p>日時 9月21日（金）18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)</p>
<p>10月の集会</p> <p>日時 10月10日（水）18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)</p>	<p>10月の企画運営委員会</p> <p>日時 10月23日（火）18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)</p>



夏山大会

清水 康裕

夏山大会に久しぶりに参加した。表銀座と呼ばれる燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳に行けた。高山へ行けたのも、短いコースだが、2014年の7月20日～21日の65周年記念登山の乗鞍岳以来である。全日程快晴で、穂高連峰、槍ヶ岳など綺麗な眺めを拝めた。こんなの滅多にない。

14年前、2002年6月4日～6日に吉田さん、渡辺さん、室谷氏、松浦氏と電車及びタクシーで燕岳～大天井岳～常念岳に行っている。このときも全日程快晴であった。燕山荘に泊まって、次の日は常念小屋に泊まって、常念岳のあと前常念岳へ行き、三股に下山した。その時代、息がハアハアとしてきても気にせず、まだまだ体は動いて登れた。

今回は年をとったせいで、息がハアハアしてきたら、そのまま立ち止まって動けなくなった。今回、中房温泉に初めて入湯した。中房温泉の登山口が記憶と違っていた。合戦小屋までシンドく、着いたとき他のグループの方は名物のスイカを頬張っていたが、私たちは水分を補給するだけにした。燕山荘にザックをデポして、燕岳を往復したが、こんな空に向かった花崗岩の柱がたくさん立って、全体的に白っぽい山だったかなあ。大天荘前の登りはこんなにキツかったかなあ。大天荘に泊まった。前回の燕山荘のように綺麗で快適な小屋だった。常念岳は岩の集まりで、記憶とおりであったが、常念岳の下りは非常に急降下で、登山道の中に突き出た石が自分に向いていて足の置き場が難しかった。そのあと鞍部から蝶ヶ岳まで樹林帯を通過して登るのが記憶になく、この期に及んで樹林帯を登ることが精神的にキツかった。蝶ヶ岳ヒュッテに泊まった。ここで、徳本峠ルートから登って来られた井戸さんと合流した。ヒュッテのまわりで、日焼けした腕に虫が沢山刺してきた。蝶ヶ岳山頂で井戸さんが名残惜しんでおられた。また来られるだろうか、もう最後だろうか。私も一緒に景色を目に焼き付けた。

1回登っているコースがほとんどであるが、こんなにシンドイ山だったかなあ。前回の記憶が当てにならない。自分の体力の低下のためか、シンドサもルートの雰囲気も全く違う山であった。また、同じ山を登ることがあれば、違う山に思えるのだろう。

(2018. 8. 24. 記)

坂井久光氏，渡邊智生氏 追悼登山 大文字山

清水 康裕

坂井久光氏は平成30年5月1日に逝去（享年93歳）され，渡邊智生氏は一周忌（平成29年7月7日逝去，享年81歳）である。お二人を偲んで，いつも私たちが登らないルートで大槻さんに教えていただき登った。

山科聖天の前を通り過ぎ，ハガキの木を右に行くのがこのコースの重要ポイントになっている。ハガキの木も初めて教えてもらった。タラヨウという木で「葉の裏面を傷つけると字が書けることから，郵便局の木として定められており，東京中央郵便局の前などにも植樹されている。」（ウィキペディア）

標高400mピークから鞍部が2箇所過ぎたあと付近が安祥寺跡であったらしい。ラクト山科の掲示板に安祥寺の図があったが，私らが安祥寺の所に来ていたとは驚いた。

今回，山科側から大文字山へ登るルートは沢山あることを教えてもらった。今回初めて登ったルートにより，不思議なことに大文字山が今までとは全然違う山に思えた。

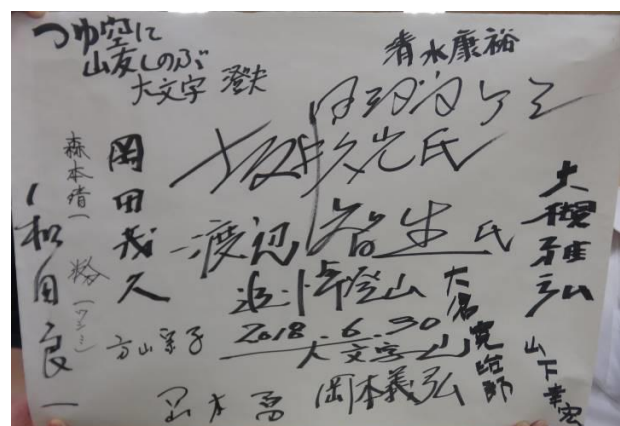
大文字山三角点付近で昼食をとり，セレモニーとして，黙祷，記念撮影，義弘さんのアイデアで模造紙を持って来ていたので寄せ書きを行った。（後日の集会でも加筆してもらった。）

セレモニーのとき，京交山岳部をすでに退部された，台川敦美氏も数箇月前に逝去されていたことがわかった。

坂井久光氏，渡邊智生氏，台川敦美氏のご冥福をお祈りしたい。

【参加者】井戸澄夫，大倉寛治郎，大槻雅弘，岡田茂久，岡本勇，岡本義弘，方山宗子，吉田武，鷺見壽末子，清水康裕 10名

【コースタイム】6月30日（土）9：00 地下鉄山科駅…9：15 毘沙門堂門跡 9：30…山科聖天…9：35 ハガキの木（タラヨウ）…9：40 御陵のフェンス沿い急登…9：50 尾根道…9：55 送電線下…11：00 標高400mピーク…11：40 トレイル標識 No. 44-2…12：00 大文字山 三角点 12：50…13：10 火床…13：50 銀閣寺



夏山大会報告（1）

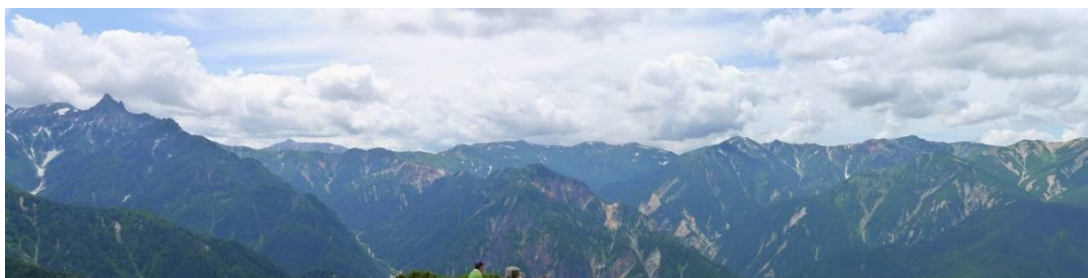
中房温泉から燕岳～常念岳～蝶ヶ岳～三股への縦走登山

鳥丸 山下 幸宏

夏山大会に参加して頂いた京交山岳部員の方々，ありがとうございました。
部員の皆様，今回は写真のみでの山行報告となります。ご了承ください。



燕山荘からの燕岳



蛙岩付近からの展望



大天井岳山頂（2922m）



常念岳山頂（2857m）からの展望



常念岳にて



蝶ヶ岳山頂 (2677m) にて

【参加者】(中房～燕～蝶～三俣) 岡本義弘 清水康裕 山下幸宏
 (島々～徳本峠～蝶) 井戸澄夫
 (車回送) 吉田 武

【コースタイム】

平成 30 年 8 月 1 日 (水) 9:00 JR 山科駅—9:07 京都東 IC—11:25 恵那峡 PA—12:05—13:55
 安曇野 IC—14:05 西友—14:35—15:40 中房温泉テント泊

岡本(義), 山下, 清水のコースタイム

平成 30 年 8 月 2 日 (木) 6:05 登山口 中房温泉 6:15 …6:50 第一ベンチ…7:20 第二ベンチ…8:00
 第三ベンチ…8:40 富士見ベンチ…9:25 合戦小屋…9:55 三等三角点…10:45 燕山荘 昼食 11:30
 …11:55 燕岳山頂 12:00…12:20 燕山荘 12:40…13:15 大下り標識…14:30 鞍部 2,671m…14:50
 分岐…15:25 大天荘

平成 30 年 8 月 3 日 (金) 5:00 大天荘…5:05 大天井岳山頂…大天荘 朝食 5:55…7:50 常念小屋 8:10
 …9:30 常念岳山頂 昼食 9:50…11:10 ピーク 11:40…12:15 ピーク 2,592m 12:25…12:45 鞍部
 12:55…13:30 蝶槍…14:00 三角点…14:30 ピーク…14:35 蝶ヶ岳ヒュッテ (17:30 井戸さん到着
 合流)

井戸, 岡本(義), 山下, 清水のコースタイム

平成 30 年 8 月 4 日 (土) 6:55 蝶ヶ岳ヒュッテ…7:05 蝶ヶ岳山頂…分岐…7:20 大滝山との分岐を
 三股へ…8:30 蝶沢 2,150m…8:50 標高約 2,000m の所…9:15 まめうち平 標高約 1,900m 9:20
 …10:00 力の水 1,610m…10:45 三股登山口…11:15 第二駐車場(吉田氏合流)—12:00 手打ちそば
 「山麓」 12:50—13:55 中の湯温泉泊

平成 30 年 8 月 5 日 (日) 7:50 中の湯温泉—9:10 飛騨清見—10:10 道の駅九頭竜 10:20—
 11:50 はま寿司(8号鯖江店) 12:25—13:40 道の駅マキノ 14:05—16:30 山科 ST にて解散。

夏山大会報告（2）

行きたかった表銀座

岡本義弘

穂高・槍ヶ岳連峰の大パノラマを一度は目に焼き付けたいと思って参加した。登り始めの中房温泉から合戦小屋までは急登である。1ヶ月半ほど前から通勤時に10Kgの荷物を背負いトレーニングした甲斐もありなんとか登りついた。「合戦小屋名物のスイカが美味そうだが三人とも手を出さず」快晴の天気である、待望の景観を願いつつ登る。灼きつける日差しであるが、木陰に入るとさすがに下界とは違い涼しく久しぶりに味わう冷気だ。

樹林帯を抜け燕山荘、花崗岩の白い燕岳が見え、槍ヶ岳・穂高連峰が目に入って来る。今まで色々な方向から見てきた山容であるが、まことに大パノラマである、やはり最初に槍が目に入って来た。

白々とした燕岳に行く尾根筋の傍らに白砂を敷いた上に、植えつけたようにきちんと並んで可愛いコマクサだけが独占し、お花畑を作っていた。何の風よけもなく強風が吹けば飛んで行ってしまいそうに咲いている。砂礫に咲くのをよく見るが、こんな厳しいところで咲いているを見たのは初めてに思う、根は深いようだが高山植物の強さを感じ入る。

燕岳の狭い山頂で最初の万歳三唱をする。これから蝶ヶ岳までの尾根筋を、何一つさえぎる物もない穂高・槍連峰の絶景を真近に見て歩くが、燕山荘からの尾根道はアップダウンの厳しい尾根道で、燕岳の花崗岩の奇岩とは全く違った尖がった石で危ない歩きにくい尾根道が続く、それにも拘わらず、足元を見る視線がつい穂高・槍の景色が気になりそちらの方に目がいってしまう別に山が隠れる訳でもないのに。

パノラマを見る角度が徐々に変わり姿も少しづつ変わってゆく。40年前に行った奥又白池をベースにし前穂の岩壁を登攀した遠い思い出を思い起こし前穂を眺める。

初日大天井ヒュッテ、二日目蝶ヶ岳ヒュッテに泊まり天候も良く共に美しい夕日、御来光を満喫出来た。多くの登山者がパノラマに魅せられて登ってこられる、高齢者の方が結構多く、そんな中この展望尾根まで、よくここまでこられたなど驚くほどの高齢者の女性もおられた。この力は、この展望の魅力が惹きつける強さにあるからだろう。

四季それぞれの持つこのパノラマ風景を想像すると、又違った景色を求めに別の季節に来たくなる。しかし難しく思う。この山歩きで下山の朝の蝶ヶ岳から眺めるパノラマが1番好かった。三日間も眺め続けているにも拘わらずまだ眺めていたくなる。三日間好天に恵まれ思い出の大きい山歩きでした。

吉田さんには、送迎して頂きありがとうございました。

夏山大会報告（3）

島々宿～徳本峠～大滝山～蝶ヶ岳コース

井戸澄夫

今年の夏山大会は合戦尾根～燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳～三俣のコースを縦走したが、小生は既にこのコースを登っていることと、もう一つは体力の衰退で他のメンバーに付いていけないと思ったので、以前から行きたく思っていた島々宿から徳本峠へ辿り、蝶ヶ岳で本隊と合流することにした。天候は最高であった。

1日目は岡本氏の息子さんから借用した大型10人乗りワゴン車に5人が乗り、ゆったりドライブで中房温泉に昼過ぎに到着。時間が早いのでとりあえず登山口の温泉に浸かった。登る前に風呂に入るなんてという叱責もあったが、源泉かけ流しの文句なしの山のいで湯であり十分満喫して、夜のテントで

の大宴会が盛り上がったのは言うまでもない。いつもながら食事を担当していただいた岡本氏には感謝である。

2日目に合戦尾根を登る清水、山下、岡本氏を登山口まで送り、回送を担当してくれた吉田氏と島々宿に向かった。島々谷は明治時代に上高地に入る唯一のルートであった。谷を登り詰めたところが徳本峠で、穂高・槍の絶景が一気に拡がり日本アルピニズムの父といわれるウエストン卿もその美しさを絶賛したという。上高地明神からは2時間もあれば登れる徳本峠も島々宿からはコースタイム合計で約7時間であり約1300mを溪谷沿いに登っていく厳しいコースである。島々集落のはずれの登山口ゲートで吉田氏と別れた。登山届けを出すところを探したが見当たらず、そのまま林道を進むと二股で山道となる。溪流に沿う岩魚留小屋までは緩やかな登りの樹林帯であり、清流の音と涼しい風を感じながら快適に登れる。岩魚留小屋は無人であった。このコースは登る人は少ないようである。

岩魚留小屋から急勾配となり標高差700m余を登るが、小生は最近急な登りに全く弱くなっており、徳本峠まで約4時間かかって夕方6時にやっとの思いで到着した。100m登るのに30分以上かかった計算である。小屋では登山届を出していないことを注意された。入り口ゲート近くの交番に届けることになっているそうである。全く気づかなかった。どうやら交番のおまわりさんと登山者情報を交換しているようであった。小生の前に島々から来た登山者は2グループしかいなかったようである。長い上に携帯も通じないコースなので、小屋としても神経を使っているようであった。小屋は上高地から登ってきた人々で賑わっていたが、小生は食事にもありつけず、古い小屋に一人だけで寝た。星がきれいであった。

3日目は、大滝山から蝶ヶ岳へ中村新道を縦走である。ほとんどが樹林帯の中を歩く。途中、明神見晴らし、大滝槍見台というビューポイントがあり、穂高・槍の大展望を楽しんだ。大滝山までの標高差は500mほどで楽勝かと思ったが、意外に上り下りがあり時間がかかった。大滝山から蝶ヶ岳へも池からさらに下りがあり、登り返しでへろへろになり、3時間もかかってしまった。結局、本隊3名の待つ蝶ヶ岳ヒュッテには5時半に到着した。蝶ヶ岳ヒュッテはさすが表銀座、登山客も多く国際色豊富であった。

4日目は、早朝、蝶ヶ岳山頂からの絶景を存分に満喫した。おそらくこの景色は一生の見納めになるであろうと思うと、感慨深いものがあつた。三俣の駐車場で吉田氏がビールとアイスを買って待っていてくれた。実にありがたかつた。

[コースタイム]

8月2日(水) 8:15 島々谷入り口ゲート(h-800m)・・9:00 発電所・・10:20 二股 10:40・・13:20
岩魚留小屋(h-1256m)13:50・・15:40 力の水 16:00・・18:00 徳本峠小屋(泊)
8月3日(木) 6:00 徳本峠小屋(h-2100m)・・9:40 大滝槍見台(△2364.5m)10:00・・14:00 大滝山
(3等△2614.5m)大滝山荘 14:20・・17:30 蝶ヶ岳ヒュッテ(泊)
8月4日(金) のコースタイムは本隊と同じ。

夏山大会報告(4)

表銀座・徳本峠山行のサポート

吉田 武

1日目、猛暑の続く中、京都を後に信州中房温泉まで走る。クーラーの効いている車中は快適、明日の登山の事を考えて登山口近くでテント地を探したが、駐車場の係員の細かい注釈を聞いて嫌になったので、来た道を少し戻って空き地にテントを張った。

2日目、岡本君、山下君、清水君を燕岳登山口の中房温泉まで送り、次は徳本峠から大滝山、蝶ヶ岳に登る井戸さんを、松本市島々の登山口まで送る。さあ、ここからは僕の世界、R158を松本ICまで走り、長野自動車道を更埴JCTから上信越自動車道を上越高田ICまで走って、高田公園の中にある高田城跡を見学した。公園の一角に本丸の標識があるが、建物としては三重櫓が再建されたのみで僕の好きな中途半端な城跡だった。

次は近くの上越春日山城跡、上杉謙信の銅像が迎えてくれるが、建物はなく本丸跡や、二の丸跡そして米蔵跡等の標識のみで、何か物足らなかった。次の観光場所は新潟米の棚田を見に行こうと思ったのでナビをインプット、上越市長島区菖蒲にナビを合わせて「蓮野の棚田」を見に行く。

稲が伸びすぎて棚田として解りづらかったが、十日町のR403「星峠」の棚田は良かった。国道403からR253を走りR8に出て今日の宿、上越市長浜の民宿「彦治エ門」に着いた。

3日目、今日はR8を通って糸魚川市からR148を姫川沿いに梅池高原スキー場まで走る。何時も2月にスキーに来ているがまた違った景色である。早速ゴンドラとロープウェイの往復券(3600円)を購入してさわやかなスキー場から梅池自然園まで運んでくれる。2時間程景色や散策をして下山、今日は定宿の「白馬ベルグハウス」に宿をとる。大変楽しみにしている。

4日目、今日はサポートの任務。早朝から清水君から連絡があり、10時には待ち合せ場所の三股で待つてほしいと言うことで、土曜日であるために少し早く食事を済ませて三股に向かった。最近の豪雨で道路をあちこち直しているの少し時間がかかったが、9時40分に三股に着いた。常念岳や蝶ヶ岳の登山口になっているので、登山計画書を各登山者に投函するように長野県山岳遭難対策がテーブルを置いて登山届を促している。僕も時間つぶしに計画書を書いていただくために、少し助力をした。やがて縦走組が到着、暑さのために相当ばてているようだ。少し時間をかけて休んでもらって、今日の宿舎秘湯の旅館「中の湯温泉」にエスコートした。

【参加者】井戸澄夫・山下幸弘・岡本義弘・清水康裕・吉田 武



上越高田城跡三重櫓中



上越高田城跡入り口



上越高田城跡本丸跡



春日山城跡上杉謙信像



城跡標柱



梅池自然園より小蓮華岳



スキー場より白馬鑓と杓子



キヌガサソウ



クルマユリ



ワタスゲ



蓮の花



星峠の棚田



春日山城跡唯一の建物



樽池自然園にて



高田城跡三重櫓

【個人山行】H30. 7. 22～25

冷山 (2193m) と八ヶ岳周辺散策

烏丸 山下 幸宏

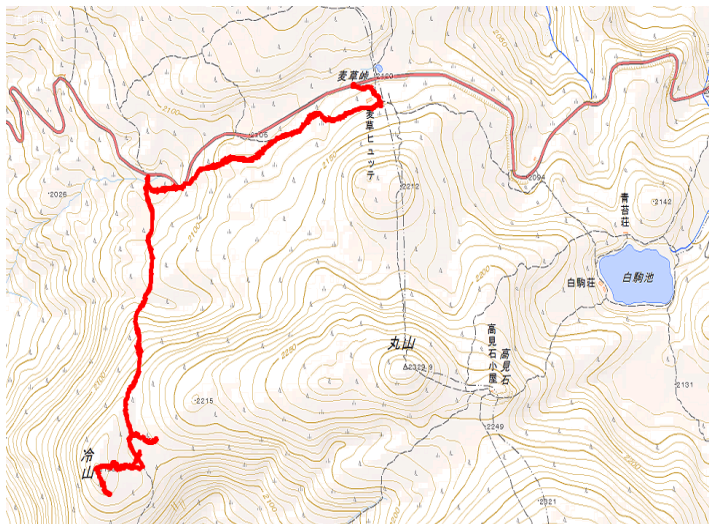
今年5月半ばに、麦草峠を起点として山歩きを楽しんだが、一つだけやり残した課題が有り、それをどうしてもクリアする為再び麦草峠に向かった。その課題のついでであるが、冷山にはまだ足を踏み入っていないので、行くこととした。

7月22日午後勤務終了後、帰宅して約一時間後、家族全員私の自分勝手に急いで出発。麦草ヒュッテには翌23日午前2時30分に到着した。だが、空を見上げると残念ながら雲で覆われて特に南西方向の空は全く星を見る事が出来なかった。私のイメージしている写真が撮れないので急ぎょ麦草峠有料駐車場に向かい、その敷地内で北の空と東の空は雲がかかってないので、撮影開始することとした。「星空写真撮影」これが前回やり残した課題であった。登山とは関係ないが、自分のカメラ好きの事を書きたいと思う。前回の星空撮影では、技量不足でピンボケ写真連発だった。(暗いところではAFが使用出来ない)その為自宅のベランダで夜に何回かMFでピントを合わず練習を

した。又、ヘッドライトなしでカメラ操作が出来るよう暗闇でも今では操作できる。まず、ISO を 800~6400 の範囲内で段階的に切り替えて明るさを変え、撮影する。ISO の数字を上げ過ぎると明るくなるが写真自体荒くなるので、できるだけ低感度での撮影を望む。シャッター20秒、(レンズ焦点距離により変わる。また星を点で写す場合)。手ぶれ補正 OFF, 絞り解放, レリーズをカメラにつなぎ、ファインダーをのぞき、ピントリングをまわす。するとライブビュー拡大画面に切り替わり、一番明るい星でピントを合わせ。合点すると星は一番小さく見え、ピンボケだと大きく見える。普通無限大で合わせますが、最近のレンズには∞マークは書いていないレンズがある。私はまだピント合わせに自信がないので、念の為にクロスフィルタ 8X(8本線が出る)を使用した。この時点でみなさん何の事だかわからないだろう。この辺で写真の話はやめよう。結果としては、多分成功しているはずだ。忙しすぎて PC の大画面で確認していないが、この山行報告が書き終えたら処理する。

やがて夜が明け、麦草峠無料駐車場に車をとめた。気温 15℃で 11 台の車がとまっており、まだ余裕がある。嫁と息子は車内でグーグー寝ている。娘(柴犬)は、車外で待機。5時30分過ぎ、冷山に向かって一人で歩き出す。そしてヒュッテの裏側から歩き、しばらく国道と平行して緩やかな木道を歩く事約 35 分で、狭霧苑地に着く。ここから冷山のコル経由で渋の湯に続くが、あまり道は荒れていなかった。途中、一ヶ所だけ眺望の良い場所があり、北アやすぐ近くの蓼科山、天狗岳が見えた。やがて冷山のコルに着く。ここから冷山に行くが、道は無く、苔むした岩と倒木の中、またクモの巣の連続でかなり不快であったが 6時56分冷山に到着。さっさとセルフタイマーで記念撮影を済ませた。トウヒやコメツガの木々の中、展望はないが静かで美しい。そして帰りは、コルまで念の為に GPS で確認しながら歩きやすそうな所を選んで戻った。やがて丸山との分岐に到着。丸山は東との標識はあるが明瞭な道はなさそうな雰囲気。地図上では廃道扱いであるが、私自身帰りは丸山経由でと思って数百メートル歩いたが、かなりこの先時間がかかりそうだったので、往路の道で駐車場まで帰った。(家族が駐車場で待っているので冒険は出来ず) 8時30分、予定通り無事戻った。また、他の登山者とは誰ひとり会わなかった。

そして今からは、家族サービスの為ドライブすることであった。国立天文台野辺山電波観測所を見学して途中観光スポットを幾つか立寄り、昼食には、JR 甲斐小泉駅近くの蕎麦屋に寄って天ざるそばを食べ、八ヶ岳を右手に見ながら車を走らせ、少し早い午後 3 時前に白樺湖の宿に着いた。翌日 24 日は、八島湿原を歩いたが学生の団体がいた為、あまり楽しくなかった。天気は良かったが、気温 27℃で熱かった。そして伊那谷の広域農道を走り、中央ア、南アの山々を見ながら、病みあがり術後体調の良くない名古屋の義理母の様子を伺う為、そこで一泊して 25 日夕方帰京した。



例会報告(まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2786	渡邊智生氏 坂井久光氏 追悼登山 (大文字山)	曇り	平成 30 年 6 月 30 日(土)	清水康裕	岡本義弘, 大槻雅弘 鷺見壽末子, 吉田 武 方山宗子, 岡田茂久 大倉寛治郎, 岡本 勇 井戸澄夫	別稿詳報
2788	夏山大会	晴れ	平成 30 年 8 月 1 日(水) ～5 日(日)	清水康裕 山下幸宏 岡本義弘	井戸澄夫, 吉田 武	別稿詳報
2789	山の日 君尾山		平成 30 年 8 月 10 日(金) ～11 日(土)	清水康裕 吉田 武		都合により中止しました。

雑 報

△△△ 8月の集会

日 時 8月7日(火) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 大倉, 大槻, 岡田(茂), 方山, 森本, 吉田, 和田, 清水
9名
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 7月の企画運営委員会

日 時 7月24日(火) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 岡本(義), 方山, 吉田, 清水
内 容 例会予告, 岳連関係報告, 70周年記念事業ほか

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

8月号 京都山岳，趣味の登山，比良山岳，木雞

△△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い，部報の発送先，発送方法に変更がある場合は，必ず部報発送担当者（松田）まで連絡してください。

パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方はパソコンのメールアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

《新入部員募集中》

平成30年9月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>